

担当者	代表：久保敦子（宮崎県看護協会） 他 宮崎大学医学部附属病院看護師、宮崎県看護協会職員
題目	「人々のいのち・暮らし・尊厳を守る」看護のちから
学期	2026 Q4 (12月9日、12月16日、12月23日、1月6日、1月13日、1月20日、1月27日、2月3日)
授業形式	対面とオンデマンドの併用
科目の概要	
看護職は誕生から看取りまで、ひとの一生のあらゆる段階で「ケア」を提供しています。看護職の活動は、病院などの医療だけでなく、子育て、教育、福祉、療養、職場、地域、行政などあなたの身近で行われています。 本講座は、看護のプレゼンス（信頼や影響力を持つ存在感）を理解し、看護職のもつ「ちから」をご自身のあらゆる生活の場面で活用していただく内容です。大切なご自身のいのち・暮らし・尊厳を守り、人生を健康に充実したものとする方策を得られます。	
学習目標	
本講座では、看護職の活動から得られる、人が健康で自身の価値観や思いを大切にしながら生きていく方策について学び、以下の項目に関する理解を目指す。 ・ 基本的な看護活動と看護の現状 ・ 「いのち」を守るための医療安全における権利と義務、自身が行う感染症対策 ・ 「暮らし」を守るための訪問看護の上手な活用法 ・ 「尊厳」を守るための意思決定、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）	
授業計画	
1 (12/9) イントロダクション：看護の変遷と現代の看護職事情 2 (12/16) 特定の分野で活躍する看護のスペシャリストのちから 3 (12/23) 医療安全の世界：安全な医療を受けるための「権利と義務」 4 (1/6) 感染症の脅威から身を守る 5 (1/13) 人体最大の臓器「皮膚」を守る日々のケア 6 (1/20) 方針を選択する…あなたの思いを大切に意思決定、ACPの理解 7 (1/27) 住み慣れた地域で生ききる…訪問看護のちからとその活用法 8 (2/3) 健康寿命をのばす地域の保健活動のしくみ	
主な対象者	社会人、大学生、高校生
テキスト	なし
参考書・資料	
キーワード	看護活動、医療安全、感染対策、認知症対策、意思決定、訪問看護、地域の保健活動
備考	